

佐賀県の地震活動概況 (2019年2月)

平成 31 年 3 月 7 日
佐賀地方気象台

【2月の地震活動概況】

2月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は1回(下図領域外)でした(1月は5回)。

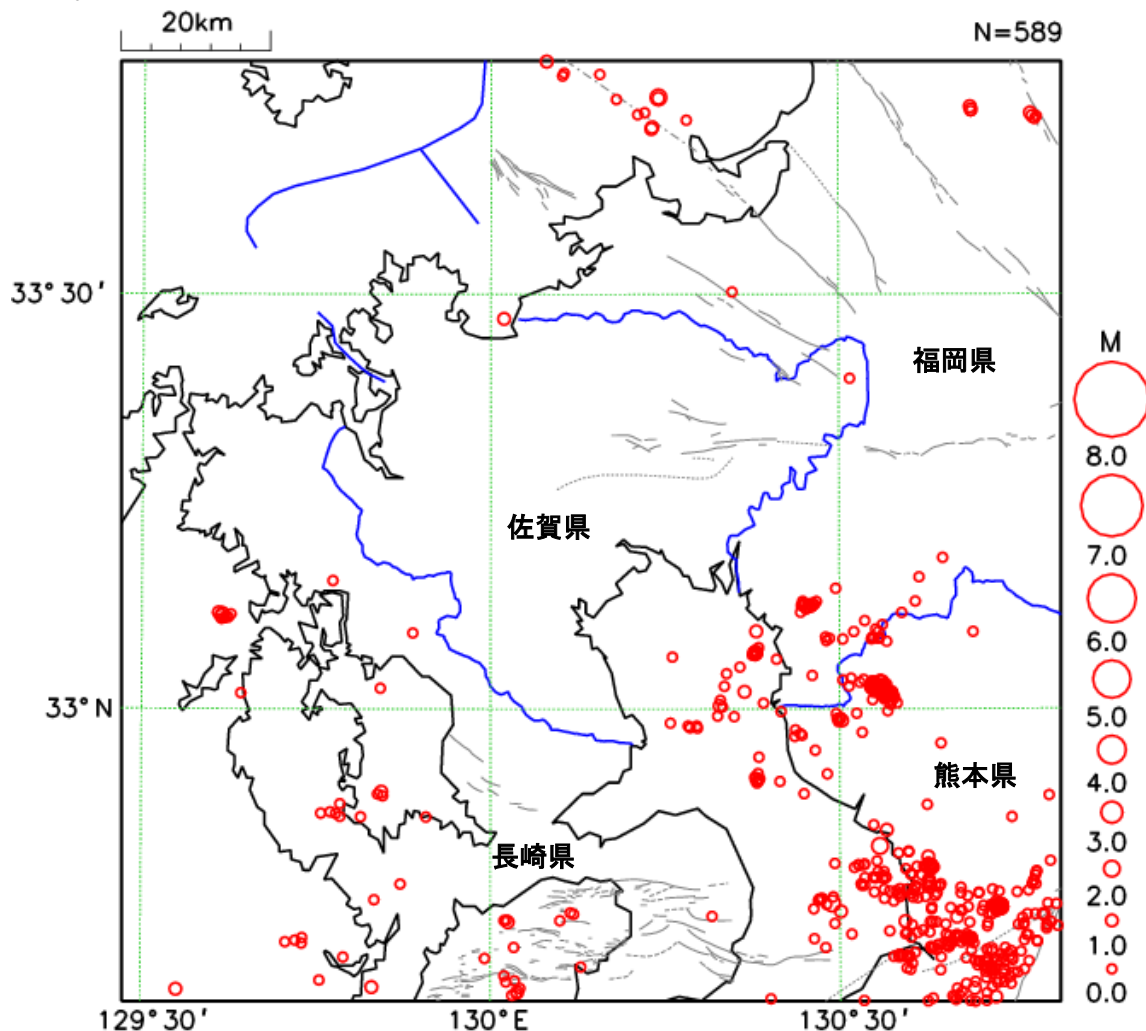


図1 震央分布図 (2019年2月1日~28日、深さ30km以浅)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

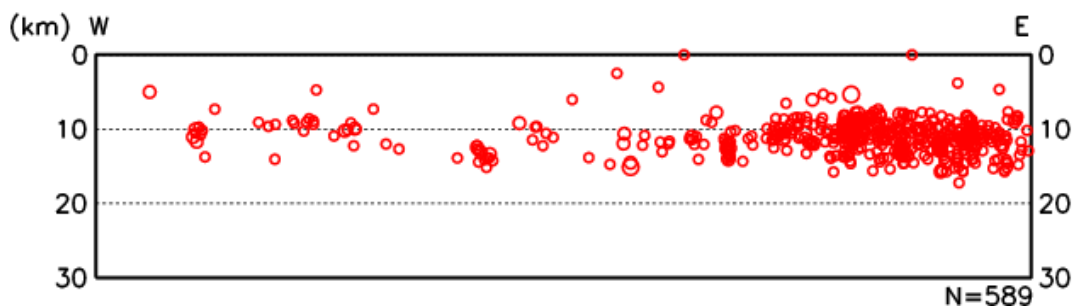


図2 断面図 (2019年2月1日~28日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

23日 天草灘の地震

23日14時30分に天草灘でM4.4の地震（深さ14km）が発生し、長崎県長崎市、熊本県天草市などで震度3を観測したほか、九州地方で震度2～1を観測しました。佐賀県では、上峰町で震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測しました（図3）。

今回の地震の震源付近（図4領域a）では、2007年9月24日にM4.1の地震（深さ14km、最大震度3）が発生し、伊万里市で震度1を観測しています（図4、図5）。

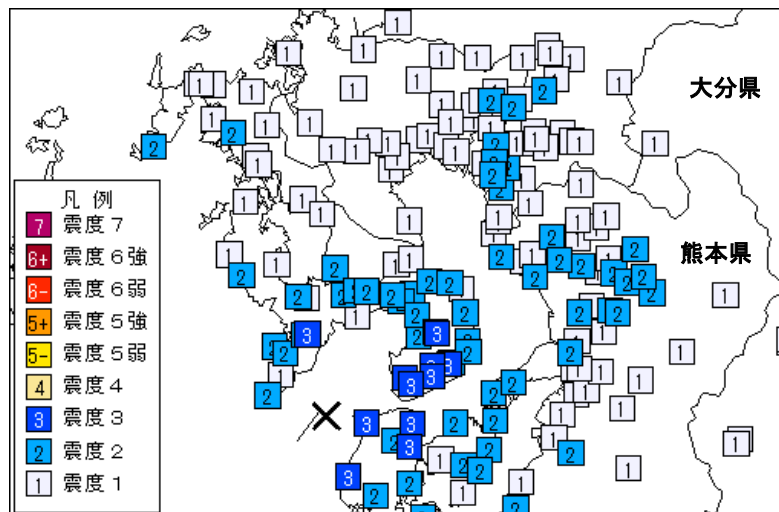


図3 震度分布図 23日14時30分 M4.4
(×は震央、観測点別)

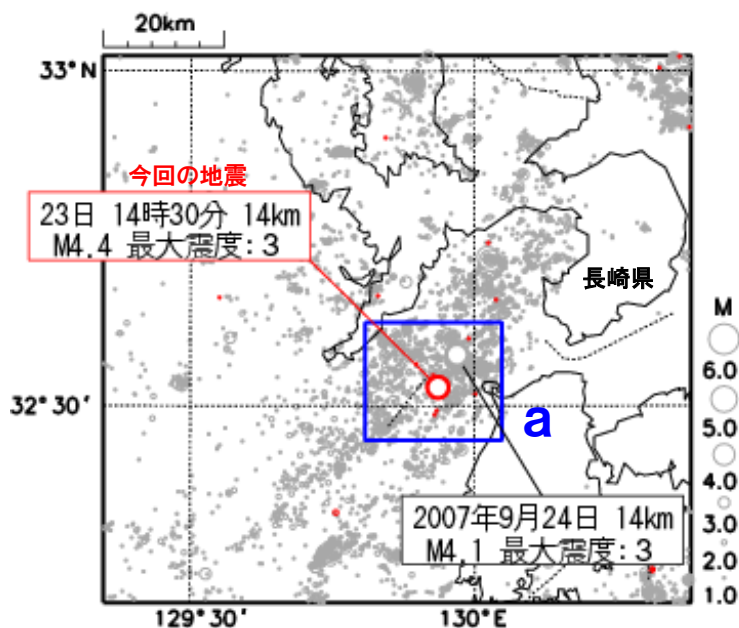


図4 震央分布図

(1997年10月1日～2019年2月28日、
深さ0～30km M \geq 1.0)

※2019年2月1日以降の地震を赤色で表示

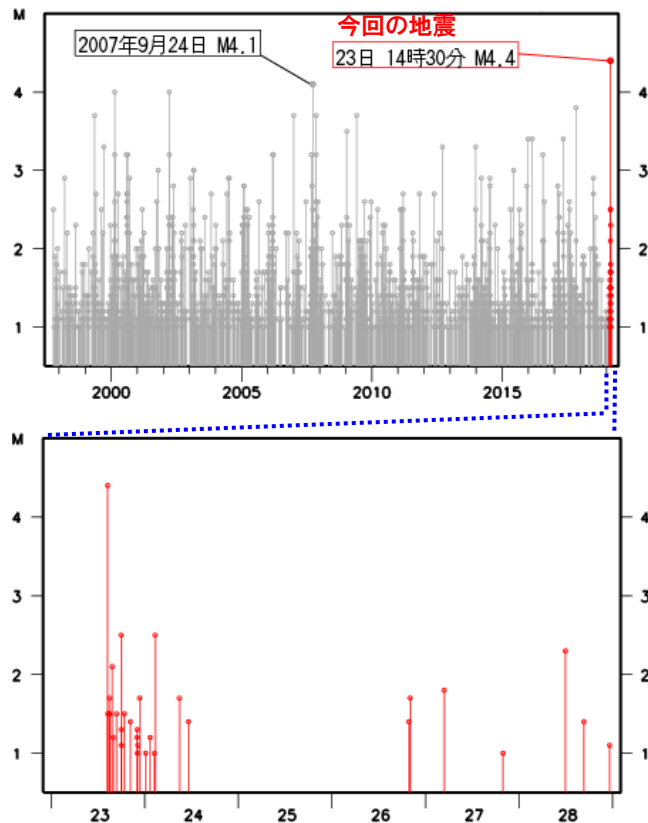


図5 図4領域aの地震活動経過図

(上段：1997年10月1日～2019年2月28日、
下段：2019年2月23日～28日)

表 1 佐賀県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震 (2019 年 2 月 1 日～28 日)

地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2月23日14時30分	天草灘	32° 31.6' N	129° 56.1' E	14km	M4.4
佐賀県	震度 2 : 上峰町坊所*				
	震度 1 : 唐津市浜玉*, 唐津市相知*, 唐津市肥前*, 伊万里市立花町*, 佐賀市駅前中央, 佐賀市富士町*, 佐賀市大和*, 佐賀市三瀬*, 佐賀市川副*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 武雄市山内*, 武雄市武雄町昭和*, 武雄市北方*, 基山町宮浦*, 大町町大町*, 白石町福田*, 白石町有明*, 太良町多良, みやき町中原*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈*, 吉野ヶ里町三田川*, 神埼市神埼*, 神埼市千代田*				

- ・「*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

「液状化現象」について

液状化現象とは、地震により強く揺らされた地面が液体のようになる現象で、水を多く含んだ砂の地盤や埋立地で起こります（図 1）。液状化現象が起こると、その上に建てられたビルや電柱が傾いたり、地中の土管やマンホールが浮き上がったりするなど、私たちの生活基盤に大きな被害が出る可能性があります。

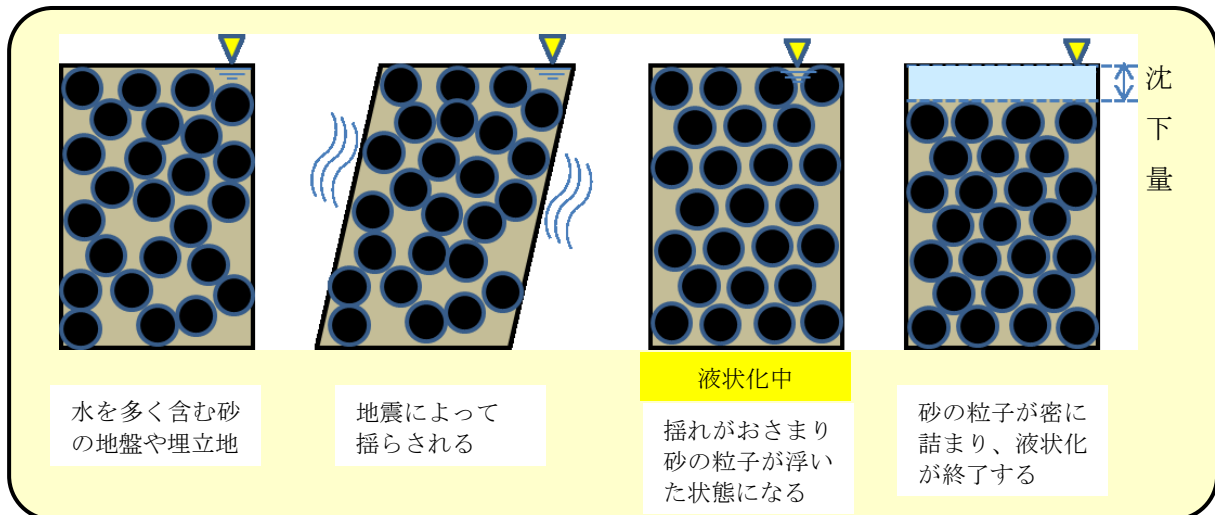


図 1 液状化現象が発生するまでの流れ

（東京大学出版会「日本の液状化履歴マップ 745-2008」を基に加筆）

この液状化現象により、1964 年の「新潟地震」では河畔の住宅が大きく傾いたり空港の滑走路が冠水したりするなどの被害が出ました。また、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」でも東京湾に面した市街地で地中のマンホールや貯水タンクが地表に浮き上がるなどの被害が出ました。佐賀県内でも、2005 年 3 月 20 日の福岡県北西沖の地震（当時の震央地名は福岡県西方沖）後の現地調査で「唐津市神集島の港付近の埋立地でごく小規模な液状化現象が起きていたものと見られる」と報告されています（写真 1）。

佐賀県は「佐賀県地震被害等予測調査業務報告書概要版」※により、県内で液状化の危険性が高い場所を示した分布図を作成しています（図 2）。

※ <https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/kiji003977/index.html>



写真 1 道路亀裂、泥水（砂水）噴出
（写真は気象庁技術報告第 130 号）

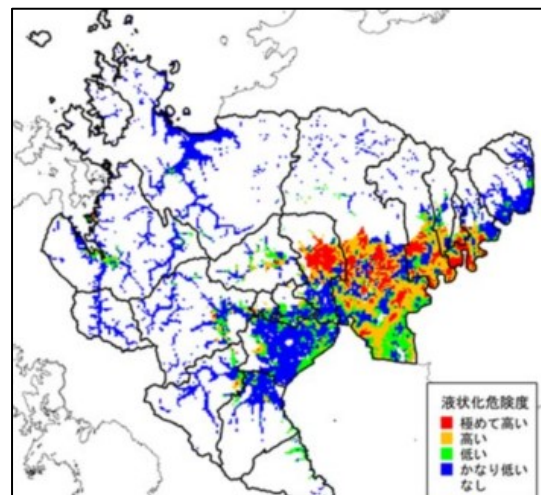


図 2 「液状化危険度の評価値の分布」の一例（佐賀県HP「佐賀県地震被害等予測調査業務報告書概要版」より）